ショウキョウ末

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品は淡灰褐色～淡灰黄色を呈し，特異なにおいがあり，味は極めて辛い.

本品を鏡検〈*5.01*〉するとき，主としてでんぷん粒及びこれを含む柔細胞の破片を認め，更に黄褐色～暗褐色の油様物質又はシュウ酸カルシウムの単晶を含む柔細胞，壁孔の明らかな繊維の破片，らせん紋，環紋，階紋及び網紋道管の破片，まれにコルク組織の破片を認める．でんぷん粒は単粒，複粒及び半複粒で卵形，三角状卵形，楕円体又は球形で，へそは偏在し，長径は通例 10～30μm である.